

ごいっしょに 新しい大阪の未来を

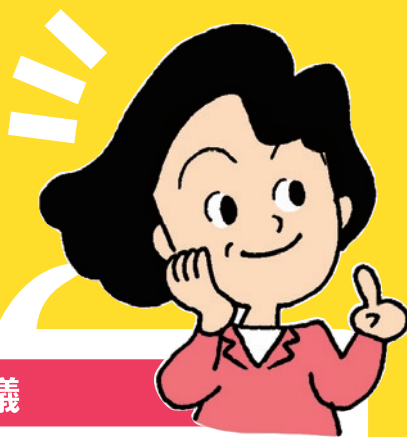
日刊

オール大阪

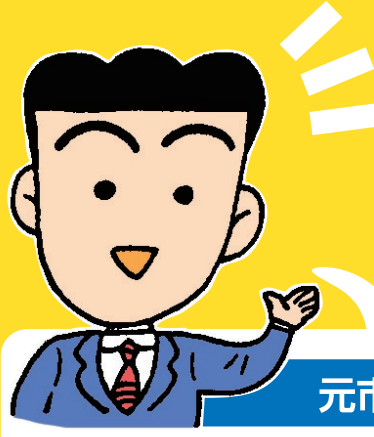
さよなら「維新」vol.8

毎日、新しいニュースをお届けしています

これまで「維新」による“政策よりパフォーマンス優先”の府政・大阪市政がすすめられてきました。政治とはコツコツと積み上げていくものです。元女性府議と元市議団幹事長は「維新政治」と真っ向から対決し、新しい大阪づくりに全力をあげています。



元女性府議



元市議団幹事長

大阪をマジメに、そして まともな大阪府を取り戻す

この8年間は大阪の歴史の中で最も不幸な期間だったと言えます。まっとうな府政・市政を「オール大阪」の力で取り戻しましょう。

景気をよくする

企業の99%を占める中小企業支援し 経済を活性化させます

「維新府政」は、ごく一握りの目立つところばかり支援し、中小企業に目が行き届かず、雇用も経済も疲弊させました。中小企業支援で経済活性化させる府政に変えましょう。

教育をまもる

しっかりと子どもの心に寄り添い 血の通った教育をすすめます

学区の撤廃や高校入試がコロコロ変わり、教育現場が疲弊しています。暴力件数や不登校児童数も急激に増えています。すべての子どもの学力を伸ばす教育にしましょう。

ムダをなくす

ムダとキケンな咲洲庁舎から撤退し 大手前に集約化します

「二重行政解消」と言いながら、大手前と咲洲の10キロ以上離れた二つの庁舎をもち、しかも防災拠点になりません。撤退し、ムダづかいをやめます。

破壊的改革から 未来志向の創造的な改革を

教育や福祉、まちづくりといった当たり前の行政がないがしろにされてきました。未来ひらく改革をすすめましょう。

くらしをよくする

特養老人ホーム等の建設や 敬老パスの改善など福祉を充実します

「維新市政」は敬老パス有料化や赤バス廃止など「市民は非常にぜいたくな住民サービスを受けている」とバツサリ削減しました。くらしを守り、市民の願いがとどく市政をつくりましょう。

雇用をまもる

積極的な中小企業支援をすすめ 人と仕事を「つなぐ」雇用を促進します

「都構想」にかまけて新たな都市政策を打たない「失われた4年」でした。中小企業を応援し、正規雇用を促進する事業者を応援するなど、働きやすい環境を整えます。

教育をまもる

教育への政治介入をやめ、 校長公募制度を見直します

「競争」と「強制」だけが学力向上につながるかのような「維新」流の教育改革で教育現場は疲弊しています。温かい中学校給食の実施など、学習環境を改善します。

広がる共同の声



トップダウンではなく 住みやすさ優先の 都市を

老舗のアイスクリーム屋
ゼー六 本町店主
廣瀬 光徳さん

住民投票で「都構想」が反対であった以上、また民意を問うのはそれこそ住民投票の税金のムダです。このことで住民感情が二分し対立するのは嫌です。トップダウンも権力的になり、役所や教育機関の現場の人が、住民と向き合うことに委縮している感じがしています。資産価値を高めることより、介護・子育ての地域福祉を充実させた、住みやすさを優先した先進的都市機能を構想したいものです。

まだ 「大阪都」って？

「住民投票」で否決されたのに、また「大阪都」？

「そんなん『二度づけ』禁止や！ルール守れ」と怒りの声がでています。

同時に、「やっぱり『大阪都』やないと変わらへんで」などの声も。

ホンマにそうか？ みてみましょう。



ペテンと
ごり押し、
「二度づけ」で

あきれ手法



大阪が発展する？

いいえ、

大阪市が破壊され、
発展のエンジンが
なくなります

「大阪都」は、「大阪市」や「堺市」をつぶすもの。橋下さんらは「コミュニティもなくなりません」といいますが、法律に「政令市をなくす」と書いています。

126年以上も続く大阪市をつぶして、なぜ大阪が発展するのでしょうか？
実際、橋下さんらの「維新政治」のもので、大阪経済はどこより落ち込んでいます。

くらしが充実？

いいえ、

大阪市による
くらしと福祉の
ささえがなくなります

橋下さんは、「住民投票」の最終盤、批判に迫られ、「『大阪都』はくらしがよくなる話ではない」といいだしました。
大阪市の財源と権限が「都」に吸い上げられれば、中学卒業までの医療費助成など、大阪市ならではの福祉とくらしを守る制度がこわされてしまいます。だから「住民投票」でも「ノー」がつきつけられました。

ムダがなくなる？

いいえ、

新たに
ばく大なムダが
生まれます

「三重行政」がなくなるからええ？
でも、橋下さんらがいうのは大昔の話だけ。いまだここにムダがあるかはいえず、知事は、体育館は両方あっていいと言いだしています。
「都」で削られるムダはほとんどなく、逆に「区役所庁舎」建設など、680億円以上のばく大な負担がのしかかります。しかも、「都」と「区」と「一部事務組合」の「三重行政」が始まります。

「大阪都」にたいしては、中身とともに、そのやり方のひどさへの批判が広がります。

4年前の選挙では「騙されないで下さい。大阪市はバラバラにしません」とビラをまいて、市長就任すると「大阪市つぶし」に突っ走る。

「大阪都」の設計図づくりが行き詰まると「出直し市長選挙」をやつて6億円のむだづかい。それで「野党委員」をすべて「与党委員」にさしかえ強行。

「住民投票」では5億円もの「政党交付金」を湯水のようにばらまいて「金権選挙」。その支払いをめぐる「維新の党」の分裂騒ぎが続いています。

「住民投票」では「ラストチャンス」と叫び、敗北したら「政界引退」（橋下市長）、「民間人に戻る」（知事）とまでいった方が、今回のダブルのたたかいで、またぞろ「大阪都をやらせてほしい」？！

あまりにも大阪市民も、府民もバカにしたやりかたではないでしょうか。